

令和7年度 江戸川区立本一色小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○考える子 ○やさしい子 ○たくましい子					目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○基礎・基本の定着を確実にし、確かな学力を身に付けられる学校。 ○教師一人一人がやりがいを感じ、情熱をもって教育活動を実践できる学校。 ○家庭・地域と協力し、心豊かな児童が育つ学校。 ○学校や地域の歴史、環境を大切にし、故郷として誇りがもてる学校。					
前年度までの本校の現状	成果	○友だちの話を最後まで聞く児童が増えた。他者意識の姿勢が見られるようになった。 ○授業で考える場面を工夫することにより、思考力・表現力を伸ばした。					課題	○引き続き、基礎・基本の確実な定着を図る。 ○自分の考えを適切な言葉で話したり、相手の話を丁寧に聞いたりする姿勢をさらに身をつけさせる。				
重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度	「中間」 自己（学校）評価(A~D)	「中間」 学校関係者評価(A~D)	「年度末」 自己（学校）評価 (A~D)	「年度末」 学校関係者評価 (A~D)	「年度末」 学校関係者評価 (A~D)	次年度に向けた改善案		
9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価		
学力向上	○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・学校と民間事業者による放課後補習教室の実施	・放課後補習教室への登録率100%									
		・「本小スタンダード」の定着	・「本小スタンダード」が身についている児童を90%以上にする									
	○読書科の更なる充実	・図書館を使った調べる学習コンクールの取り組み	・応募率を3年生以上は100%、1、2年生は20%以上									
体力向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	・毎週、朝15分間の運動タイム実施	・児童へのアンケート結果で、80%以上の児童が体力を高めようとしていると回答									
		・学期に1回のなわ跳び週間の設定	・児童アンケートの結果で、80%以上の児童が縄跳びに楽しく取り組むことができたと回答									
教員共 現生に社会 進む	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	・巡回指導や特別支援教室専門員の活用、日本語指導員や日本語教室との連携	・毎月1回、通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施									
	○エンカレッジルームの活用促進	・エンカレッジルーム（ほっとルーム）の保護者への理解啓発	・年度初め、年度終わりの全学年の保護者会でエンカレッジルーム（ほっとルーム）を紹介									
	○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実	・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施	・各学期1回以上の実施									
不登校・充い実じめ	○豊かな心の育成	・委員会活動や係・当番活動、異学年交流などの充実	・児童へのアンケート結果で、80%以上が係・当番活動をしっかりやっていると回答									
	○L-Gateの活用	・L-Gateを活用し、児童の心の変化や悩みへの柔軟な対応	・児童アンケートの結果で、90%以上の児童が学校が楽しいと回答									

